カラー品質ガイド ページ 1 / 6

カラー品質ガイド

カラー品質ガイドには、カラー印刷の調整とカスタマイズを行う場合にプリンタで可能な操作が記載されています。

[印刷品質]メニュー

メニュー項目	説明		
印刷モード	イメージをモノクログレースケールとカラーのどちらで印刷するかを指定します。		
カ フー 白黒のみ	メモ : 出荷時の標準設定は[カラー]です。		
カラー補正 自動	印刷ページのカラー出力を調整します。		
コンプ オフ 手動	 ▶ 出荷時の標準設定は[自動]です。[自動]は、異なるカラー変換テーブルを印刷ページの各 ★ブジェクトに適用します。 		
	• [オフ]は、カラー補正をオフにします。		
	• [手動]は、[手動カラー]メニューの設定を使用してカラーテーブルをカスタマイズできるように します。		
	 加法混色と減法混色の違いのため、コンピュータのモニタに表示される一部のカラーは、印刷ページで再現することができません。 		
印刷解像度	印刷結果の解像度を指定します。		
1200 dpi	メモ:		
4800 CQ	• 出荷時標準設定は[4800 CQ]です。		
	● [1200 DPI]は、最高解像度で出力します。		
トナーの濃さ	印刷結果の濃淡を調整します。		
1~5	<u>አ</u> ቺ:		
	● 出荷時の標準設定は[4]です。		
	 小さい数を選択するほど、トナーを節約できます。 		
	• [印刷モード]が[白黒のみ]に設定されている場合、[5]を設定すると、すべての印刷ジョブの トナー濃度および濃さが増加します。		
	 [印刷モード]が[カラー]に設定されている場合、[5]の設定は[4]の設定と同等です。 		
細かい線を強調	意匠図、地図、電気回路図、フローチャートなどのファイルに適した印刷モードを有効にします。		
オン 	メモ:		
オノ 	 ソフトウェアプログラムから[細かい線を強調]に設定するには、ドキュメントを開いて[ファイル]→[印刷]の順に選択し、次に[プロパティ]、[設定]、[オプション]、または[セットアップ]をクリックします。 		
	 内蔵 Web サーバを使用して[細かい線を強調]に設定するには、ネットワークプリンタの IP アドレスをブラウザウィンドウに入力します。 		
カラートナー節約 オン	クラフィックスおよびイメージに使用するトナーの量を削減します。テキストに使用するトナーの量は削減されません。		
オフ	メモ:		
	• 出荷時の標準設定は[オフ]です。		
	 [オン]に設定すると、[トナーの濃さ]の設定より優先されます。 		

カラー品質ガイド ページ 2 / 6

メニュー項目	説明
RGB 明るさ	カラー出力の明度を調整します。
-6 ~ 6	 メモ:
	● 出荷時の標準設定は[0]です
	• 最も低い値は $[-6]$ で 最も高い値は $[6]$ です。
	 この設定は、CMYKカラーが使用されているファイルには影響しません。
BGB コントラスト	カラー出力のコントラストを調整します。
0~5	
	 出荷時の標準設定は[0]です。
	 この設定は、CMYKカラーが使用されているファイルには影響しません。
RGB 彩度	カラー出力の彩度を調整します。
0~5	メモ:
	● 出荷時の標準設定は[0]です。
	 この設定は、CMYKカラーが使用されているファイルには影響しません。
カラーバランス	タカラーに使用するトナーの量を増減することによって出力結果のカラーを調整 ます
シアン	
-5~5	
マゼンタ	
-5 ~ 5	
イエロー	
-5 ~ 5	
モノクロ	
-5 ~ 5	
標準設定に初期化	
0	
カラーサンプル	プリンタで使用する RGB と CMYK の各カラー変換テーブルのサンプルページを印刷します。
sRGB 表示	 メモ:
sRGB 鮮明	● いずれかの設定を選択すると サンプルが印刷されます
画面 - 真ブラック	• $t = 1$ · t
	わせで構成されます。これらのページを使用して、希望の印刷結果を得るために使用する組
	み合わせを選択できます。
	● カラーサンプルページの完全な一覧を確認するには、ブラウザのウィンドウでプリンタの ⅠP ア
	ドレスを入力し、内蔵 Web サーバにアクセスします。

カラー品質ガイド ページ 3 / 6

メニュー項目	説明
手動カラー RGB イメージ 鮮明 sRGB 表示 画面 - トゥルーブラック sRGB 鮮明 オフ RGB 文字 鮮明 sRGB 表示 画面 - トゥルーブラック sRGB 表示 画面 - トゥルーブラック sRGB 煮示 画面 - トゥルーブラック sRGB 表示 画面 - トゥルーブラック 鮮明 sRGB 表示 画面 - トゥルーブラック 鮮明 sRGB 表示 画面 - トゥルーブラック 鮮明 sRGB 熱明 オフ	 RGB カラー変換をカスタマイズします。 メモ: (RGB イメージ)の出荷時標準設定は[sRGB 表示]です。この設定は、カラー変換テーブルを印刷出力に適用して、コンピュータのモニタに表示されるカラーに一致させます。 (RGB 文字)および[RGB グラフィック]の出荷時標準設定は[sRGB 鮮明]です。[sRGB 鮮明]は、彩度を高めるカラーテーブルを適用します。ビジネスグラフィックスおよびテキストにはこの設定が適しています。 (鮮明]は、より明度と彩度が高い色を作成するカラー変換テーブルを適用します。 (画面 - トゥルーブラック]は、中間色のグレーにブラックトナーのみを使用するカラー変換テーブルを適用します。 [オフ]は、カラー変換をオフにします。
手動カラー CMYK イメージ US CMYK ユーロ CMYK 鮮明 CMYK オフ CMYK 文字 US CMYK ユーロ CMYK 鮮明 CMYK オフ CMYK グラフィック US CMYK ユーロ CMYK ユーロ CMYK 鮮明 CMYK オフ	 CMYK カラー変換をカスタマイズします。 メモ: *米国の出荷時標準設定は[US CMYK]です。[US CMYK]は、印刷出力を SWOP カラー出力に一致させるためのカラー変換テーブルを適用します。 *米国以外の出荷時標準設定は[ユーロ CMYK]です。[ユーロ CMYK]は、印刷出力を EuroScale カラー出力に一致させるためのカラー変換テーブルを適用します。 [鮮明 CMYK]は、US CMYK カラー変換テーブルの彩度を高めます。 [オフ]は、カラー変換をオフにします。
カラー調節 	カラー変換テーブルの再較正を開始し、印刷出力の色のばらつきを調整します。 メモ: • このメニューを選択すると、調節が開始されます。処理が完了するまで、プリンタの操作パネ ルに「 調節中 」と表示されます。 • 印刷出力の色のばらつきは、室温や湿度などの変わりやすい条件に起因する場合がありま す。カラー調節は、プリンタアルゴリズムを使用して実行されます。この処理では、カラー整列 も再較正されます。

カラー品質ガイド ページ 4 / 6

カラー印刷のよくある質問

RGB カラーとは何ですか?

赤、緑、青の光をさまざまな分量で混ぜ合わせると、自然界で見られる多くのカラーが再現されます。たとえば、赤と緑を混 ぜ合わせると黄色になります。テレビとコンピュータのモニタでは、この方法でカラーが再現されています。RGBカラー は、特定のカラーを再現するために必要な赤、緑、青の分量を示すことでカラーを表現する方法です。

CMYK カラーとは何ですか?

シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック(CMYK カラーと呼ばれます)のインクまたはトナーをさまざまな分量で印刷して、自然 界で見られる多くのカラーを再現することができます。たとえば、シアンとイエローを混ぜ合わせるとグリーンになります。 印刷機、インクジェットプリンタ、カラーレーザープリンタでは、この方法でカラーを再現しています。CMYK カラーは、特定 のカラーを再現するために必要なシアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの分量を示すことでカラーを表現する方法です。

ドキュメントに指定されたカラーは、どのように印刷されるのですか?

ソフトウェアアプリケーションでは、通常、RGBカラーまたは CMYKカラーによって、ドキュメント内のカラーを指定します。 また一般的に、ドキュメント内で各オブジェクトのカラーを変更できます。詳細については、ソフトウェアアプリケーションの ヘルプを参照してください。

プリンタは、印刷するカラーをどのように識別するのですか?

ドキュメントを印刷するときに、各オブジェクトの種類とカラーを示す情報がプリンタに送信されます。カラー情報は、カラー 変換テーブルを通じて渡されますが、このテーブルによって、目的のカラーを再現するために必要なシアン、マゼンタ、イエ ロー、ブラックの適切なトナー量に換算されます。カラー変換テーブルは、オブジェクトの種類ごとに指定できます。たとえ ば、テキストと写真イメージに異なるカラー変換テーブルを適用できます。

PostScript または PCL エミュレーションプリンタソフトウェアを使用する必要がありますか? 最高のカラー品質を得るため にはどのような設定を使用すべきですか?

最高のカラー品質を得るためには、PostScriptドライバの使用を強く推奨します。PostScriptドライバの標準設定では、多 くの印刷出カ用に望ましいカラー品質が設定されています。

印刷したカラーが、コンピュータ画面上のカラーと一致しないのはなぜですか?

自動カラー補正モードで使用されるカラー変換テーブルでは、標準的なコンピュータモニタに近いカラーが再現されます。 ただし、プリンタとモニタには技術的な違いがあり、モニタの種類や照明状況に影響を受けるカラーも多くあります。カラー の一致に関する問題を解決する場合は、プリンタのカラーサンプルページが役立ちます。推奨される手順については、質問 「特定のカラー(会社のロゴカラーなど)を一致させる方法は?」を参照してください。

印刷したページの色調が違って見えます。カラーを微調整できますか?

印刷したページの色調が違って見える場合があります(たとえば、印刷面が赤みがかって見えるなど)。周囲の環境、用紙 のタイプ、照明状況、ユーザの好みがこの問題の原因になっている可能性があります。これらの場合は、[カラーバラン ス]設定を調整すると望ましいカラーが再現される可能性があります。[カラーバランス]では、各カラープレーンで使用する トナーの分量を微調整できます。[カラーバランス]でシアン、マゼンタ、イエロー、ブラックに正(または負)の値を指定する と、選択したカラーで使用されるトナーの分量が指定に応じて増加(または減少)します。たとえば、印刷したページ全体が 赤過ぎると思う場合、マゼンタとイエローの両方の値を小さくすると、カラーを改善することができます。

カラー OHP フィルムを投影すると暗く見えます。 カラーを改善するために何かできることがありますか?

この問題は通常、反射型 OHP で OHP フィルムを投影する場合に発生します。投影時に最高のカラー品質を実現するに は、透過型 OHP を使用することを推奨します。反射型 OHP を使用する必要がある場合は、[トナーの濃さ]を 1、2、3 の いずれかの値に変更すると、OHP フィルムが明るくなります。

推奨のカラー OHP フィルムで印刷していることを確認してください。用紙とその仕様の詳細については、ソフトウェアおよび説明書類 CD に収録されている『ユーザーズガイド』を参照してください。

カラー品質ガイド ページ 5 / 6

手動カラー補正とは何ですか?

自動カラー補正を選択すると、各オブジェクトに標準設定のカラー変換テーブルが適用され、多くのドキュメントに対して適切なカラーが選択されます。ただし、状況によっては、異なるカラーテーブルのマッピングを適用した方がよい場合もあります。このカスタマイズは、[手動カラー]メニューと手動カラー補正設定を使用して行います。

手動カラー補正は、[手動カラー]メニューの定義に従って、RGB や CMYK のカラー変換テーブルのマッピングに適用されます。

RGB または CMYK に対して、異なるカラー変換テーブルを選択できます。

カラー変換テーブル	設定
RGB	● sRGB 表示 ● 画面 - トゥルーブラック
	● sRGB 鮮明
	● 鮮明 ● オフ
СМҮК	• US CMYK
	● 単田 CMYK
	 オフ

メモ: ソフトウェアアプリケーションが RGB または CMYK でカラーを指定しない場合、手動カラー補正は役立ちません。また、ソフトウェアアプリケーションやコンピュータのオペレーティングシステムがカラー調整を制御している環境でも、設定が 無効になります。

特定のカラー(会社のロゴなど)を一致させる方法は?

状況によっては、特定オブジェクトの印刷時のカラーを、決められたカラーと一致させる必要があります。たとえば、会社の ロゴカラーに一致させる必要がある場合があります。プリンタが目的のカラーを正確に再現できない場合もありますが、ほ とんどの場合は十分にカラーが一致しているはずです。

カラーの一致に関するこの問題を解決する場合は、 [カラーサンプル]メニュー項目の情報が役立ちます。 [カラーサンプ ル]の9つの値は、プリンタのカラー変換テーブルに対応しています。 [カラーサンプル]で任意の値を選択すると、数百の カラーボックスがあるページが数枚印刷されます。 選択したテーブルに応じて、 CMYK または RGBの組み合わせが各ボ ックスに示されます。 各ボックスに印刷されるカラーは、ボックスのラベルに示されている CMYK または RGBの組み合わ せを、選択したカラー変換テーブルによって表現したものです。

カラーサンプルのページを参照して、目的のカラーに最も近いカラーボックスを特定することができます。ボックスのラベル に示されているカラーの組み合わせを使用して、ソフトウェアアプリケーションでオブジェクトのカラーを変更します。手順に ついては、ソフトウェアアプリケーションのヘルプを参照してください。特定オブジェクトに対して選択したカラー変換テーブ ルを使用するときは、手動カラー補正が必要になる場合があります。

カラーの一致の問題を解決するためにどのカラーサンプルページを選択するかは、使用するカラー補正の設定(自動、オフ、手動)、印刷するオブジェクトの種類(テキスト、グラフィックス、イメージ)、ソフトウェアアプリケーションでオブジェクトの カラーを指定する方法(RGB または CMYK)によって異なります。プリンタのカラー補正設定をオフにすると、カラーは印刷 ジョブ情報に基づいて決定され、カラー変換は実行されません。

メモ: ソフトウェアアプリケーションが RGB または CMYK でカラーを指定しない場合、カラーサンプルページは役立ちません。また、ソフトウェアアプリケーションやコンピュータのオペレーティングシステムが、それ自体のカラー管理機能を使用して、アプリケーションで指定された RGB または CMYK の組み合わせを調整する場合があります。その結果、印刷されるカラーがカラーサンプルページとは正確に一致しない可能性もあります。

次の表は、カラーの一致を確認するときにどのカラーサンプルページを使用するかを決めるのに役立ちます。

カラー仕様と印刷するオブジェクト	カラー補正設定	使用するサンプルページ
RGB - テキスト	自動	sRGB 鮮明
	手動	手動カラー RGB 文字設定
RGB - グラフィックス	自動	sRGB 鮮明
	手動	手動カラー RGB グラフィックス設定
RGB - イメージ	自動	sRGB 表示
	手動	手動カラー RGB イメージ設定
CMYK - テキスト	自動	US CMYK またはユーロ CMYK
	手動	手動カラー CMYK 文字設定
CMYK - グラフィックス	自動	US CMYK
	手動	手動カラー CMYK グラフィックス設定
CMYK - イメ―ジ	自動	US CMYK
	手動	手動カラー CMYK イメージ設定

詳細なカラーサンプルとは何のことで、どのようにアクセスするのですか?

これらのページを使用するには、内蔵 Web サーバが必要になります。 内蔵 Web サーバは、ネットワークプリンタのファー ムウェア内に格納される一連の常駐ページです。 これらのページには、ネットワークプリンタの IP アドレスを使用してアク セスします。 [構成設定メニュー]をクリックし、次に [詳細なカラーサンプル]のオプションをクリックします。

内蔵 Web サーバの使用方法の詳細については、ソフトウェアおよび説明書類 CD に収録されている『ユーザーズガイド』 を参照してください。

詳細なカラーサンプルのページは、プリンタの操作パネルの[印刷品質]メニューから選択する標準のカラーサンプルページと似ています。この標準のカラーサンプルでは、レッド、グリーン、ブルーの値が 10% 単位で変わります。このページで目的のカラーに近いものが見つかり、さらにその周辺のカラーを確認したい場合は、詳細なカラーサンプルを使用できます。このページでは、10% よりも細かな値によって目的のカラー値を指定できます。詳細なカラーサンプルでは、特定カラーの周辺にあるカラーを数ページにわたって印刷できます。

9種類の変換テーブルを次の3つのオプションを使用して印刷できます。

- 印刷 標準ページを印刷します。
- 詳細 レッド、グリーン、ブルーの個々の値、およびカラーの増分値を指定します。
- リセット 既存の情報を消去して、新しい値を入力します。

シアン(C)、マゼンタ(M)、イエロー(Y)、ブラック(K)のカラー変換テーブルでも、同じ手順で操作を実行できます。 これら のカラーは、まとめて CMYK カラーと呼ばれています。標準設定の増分値はブラックが 10%、シアン、マゼンタ、イエロー が 20% です。